3）カルチベーター

(1) 用　途

畑作物の畝間の中耕や除草を行うのに使用する。

(2) 構　造

カルチベーターは、中耕と畝間除草を目的としたもので、支稈に１条当たり３～４本の固定爪又はスプリング爪を取付けたものである。爪は、土壌表面を破砕し膨軟にしながら畝間除草を行うものであり、必要に応じて培土爪などが取付けられる。

トラクター用では３～５畝用が普通である。また、カルチベーターには、平行リンクで地面の高低に追従するようにしたもの、施肥装置や整地ローラー付きなどがあるほか、ツールキャリアに堅固な爪を取付けて、中耕除草というよりは土壌の攪拌や下層土の破砕作業を狙ったけん引型の重カルチベーターや深耕カルチベーターと呼ばれるものもある。

このほか、中耕除草機には、フレームに多数のスプリング爪を列状に配置してその弾力作用により全面除草を行う除草専用のウィーダー、フレームに取付けられた多数の爪からなる爪車が走行に応じて自転しながら畝間の表土の攪拌と除草を行うロータリー・ホーなどがある。

(3) 取扱い上の留意点

作物に損傷を与えずに除草効果を高めるためには、作物の生育経過に応じた機械や爪の選択と調節方法が重要である。なお、除草は雑草の生育初期に行うと効果が大きい。

(4) 安全作業のポイント

① トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。

② 点検・調整・修理は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。

③ 着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。

④ 始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。

⑤ 移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。

カルチベーター

施肥機付きカルチベーター